

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00

●フリーダイヤル

0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。
※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	TEL (03) 5783-0626	●北陸支店	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	TEL (011) 786-5122	●関西支店	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	TEL (022) 288-8676	●中国支店	TEL (082) 504-8282
●関東支店	TEL (03) 6374-5687	●四国支店	TEL (087) 863-6761
●中部支店	TEL (052) 533-0231	●九州支店	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99267301 111 G

HiKOKI

取扱説明書

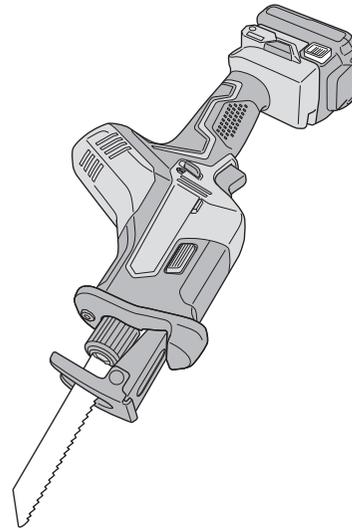
コードレスセーバソー

10.8 V
50 mm CR 12DA (ES)

用途

- パイプ、アングルの切断
- 各種木材の切断および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂の切断

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
仕様	10
標準付属品	11
別売部品	12

使い方

蓄電池の取りはずし・取付け	13
ベース位置の調整	13
スイッチロックボタンについて	14
スイッチについて	14
LEDライトの使い方	15
LEDライトの警告シグナルについて	15
1充電当たりの切断量	16
ブレードの取付け・取りはずし	17
切断する	19
作業上のご注意	22
充電する	23

その他

保守・点検	25
ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠ 警告、⚠ 注意、注 の意味について

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⊘、❗、⚠ の絵表示について

⊘ 禁止されている事項 (図中に具体的な禁止内容) **❗** 実行していただく強制事項 (図中に具体的な実行内容) **⚠** 注意・警告が必要な事項 (図中に具体的な注意内容)

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

❗ 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

❗ 正しく充電してください。

● 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

⊘ 蓄電池の端子間を短絡(ショート)させないでください。

釘袋などに入れると、短絡(ショート)して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠ 警告

⊘ 蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⊘ 感電に注意してください。

ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

❗ 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。

❗ 保護メガネを使用してください。

作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

❗ 加工する物をしっかりと固定してください。

加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

❗ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、準備・調整・保守・点検・修理する場合。
- 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⊘ 不意な始動は避けてください。

スイッチに指を掛けて運ばないでください。コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

❗ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。

⊘ 蓄電池を火の中に投入しないでください。

破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

❗ 作業場は、いつもきれいに保ってください。

散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

⊘ 子供を近づけないでください。

- 作業員以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

❗ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⊘ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

❗ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

❗ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⊘ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引いてコンセントから抜いたりしないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

⊘ 無理な姿勢で作業をしないでください。

常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

❗ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

❗ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。

- 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

❗ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

❗ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

❗ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

❗ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 落下など、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

❗ コードレス工具の修理は、専門業者に依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスセーバソーについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ❗ 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があるとブレードが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ❗ 使用中は、機体を確実に保持してください。
- ⊘ 使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
- ❗ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ❗ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、ブレードや機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ❗ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⊘ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

⚠注意

- ❗ ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ⊘ 使用直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
- ❗ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⊘ 工具本体の外枠にある風穴に異物を入れないでください。
モーターがロックし、故障の原因になります。
- ⊘ 機体で材料をたたき、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすことなどをしないでください。
内蔵している精密部品が破損し、誤作動等をおこす原因になります。
- ⊘ LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
- ❗ 蓄電池は確実に取付けてください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ❗ 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 使用中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ⊘ 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ⊘ 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ⊘ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⊘ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ❗ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⊘ 強い静電気の発生する場所では、使用しないでください。
- ❗ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

注意

- ❗ 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると、液により目に障害を与える原因になります。
- ❗ 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれる恐れがあります。
- ⊘ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないください。
- ❗ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ❗ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

蓄電池はリサイクルへ

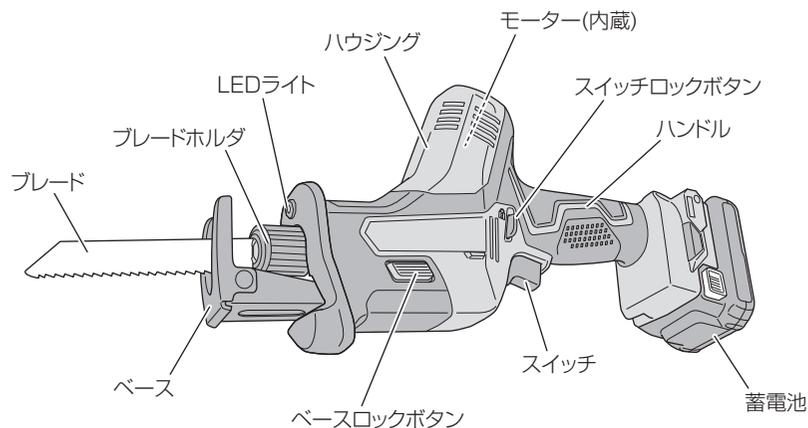
蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



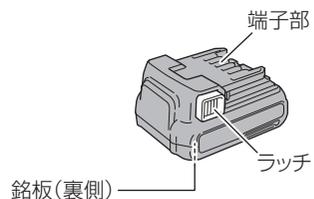
○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称

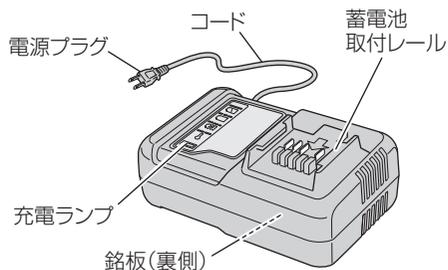
工具本体



蓄電池



充電器



仕様

1. 工具本体

形名	CR 12DA(ES)
能	パイプ 軟鋼パイプ 外径 50 mm 塩ビパイプ 外径 50 mm
力	木材 厚さ 50 mm
	軟鋼材 厚さ 12 mm
モーター	直流モーター
無負荷ストローク	0 ~ 3,200 min ⁻¹ {回/分}
ストローク	13 mm
工具本体寸法 全長 × 全高 × 全幅	333 × 155 × 66 mm (BSL 1215 装着時)
質量	1.4 kg (BSL 1215 装着時)
使用可能蓄電池	スライド式リチウムイオン電池 BSL12xx シリーズ
LED ライト	白色 LED

2. 蓄電池

形名	BSL 1215
種類	スライド式円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	10.8 V
容量	1.5 Ah
使用可能充電器	UC 12SL

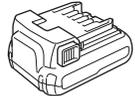
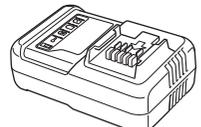
3. 充電器

形名	UC 12SL
充電可能蓄電池	スライド式リチウムイオン電池 BSL12xx シリーズ
入力電源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
充電電圧	10.8 V
充電電流	4.0 A
充電時間 ^{*1} [気温 20℃ 時]	BSL 1240M : 約 60 分 BSL 1215 : 約 22 分
コード	2 心ビニールコード
質量	0.35 kg
使用温度範囲 ^{*2}	-10 ~ 40℃
充電ランプ	赤色 LED

※1: 蓄電池の充電時間は、使用環境や蓄電池の状態により長くなるときがあります。

※2: 周囲温度が0℃未満のときは、充電時間が長くなるときがあります。

標準付属品

部 品 名	個 数
ブレード: 薄物切断用 (No.107) 	1 本
ブレード: 木工用 (No.5) 	1 本
蓄電池 BSL1215 	1 個
充電器 UC 12SL 	1 台
電池カバー 	1 個

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

各種ブレード

作業の能率や仕上げを良くするには、加工物の材質や厚さ、また用途などに適したブレードを使うことが大切です。この製品はジグソーブレードも使用でき、用途に合わせたブレードの選択が可能です。それぞれの特徴を参考にブレードを選んでください。

ブレードの詳細は、弊社総合カタログやホームページをご覧ください。お買い求めの販売店で確認してください。(ジグソーブレードの中に一部使用できないブレードがあります。P.18「ジグソーブレード(別売部品)の取付け・取りはずし」を参照してください。)



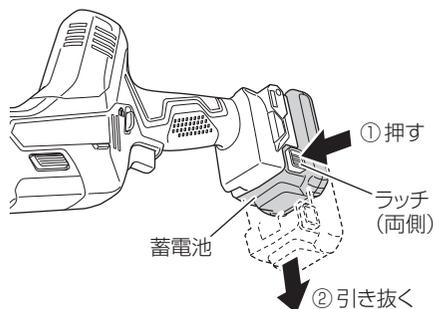
湾曲 切断スピードが速く 高寿命	種類	ストレート 切断面がきれい
長い 切断可能範囲が広く 高寿命	長さ	短い たわみづらく 作業しやすい
厚い 厚くかたい鋼材も 安定した切断	厚さ	薄い 切削くずが少ない
少ない 切断スピードが速い	山数	多い 切断面がきれい 《コンビネーション歯》は薄物鋼材の高速切断ができて、長寿命です。

- 注**
- 最大加工寸法は使用する製品によって異なります。
 - 湾曲ブレードは、本製品のストローク数が小さいため、効果は少なくなります。
 - 加工物の形状・厚さとブレード形状の組み合わせによって、切断中にロックすることがあります。

蓄電池の取りはずし・取付け

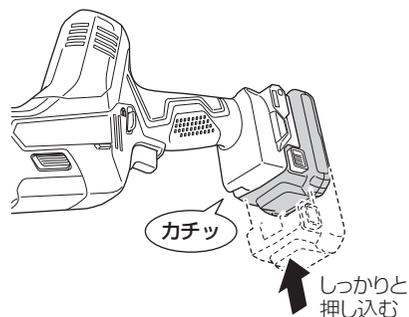
取りはずすとき

蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



取付けるとき

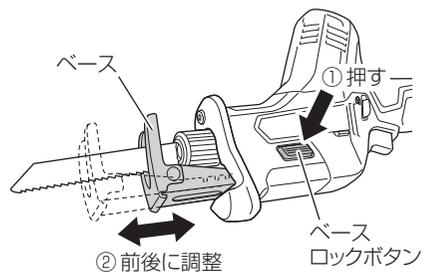
蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりとさし込んでください。



ベース位置の調整

ベースロックボタンを押すと、ベースを前後に調整できます。

「カチッ」と音がする位置で固定になります。



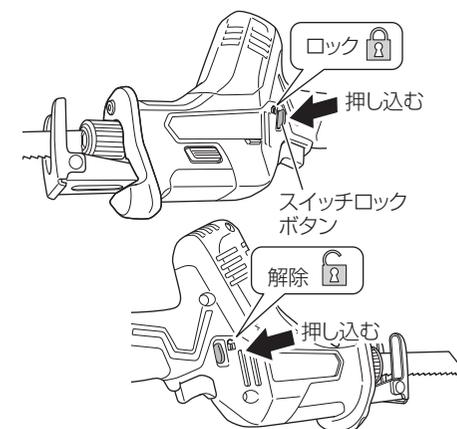
スイッチロックボタンについて

誤ってスイッチを引いてもモーターが起動しないようにスイッチロックボタンが付いています。

スイッチロックボタンは、しっかりと押し込んでください。

注 次の場合は、スイッチロックボタンをロック側に押し込んでください。

- 作業を中断および終了したとき
- ブレードを取付け・取りはずすとき
- ベースの位置を調整するとき
- フックを使用するとき
- 保守・点検・保管するとき



スイッチについて

スイッチの引き込み量で、無段階にストローク数が変わります。

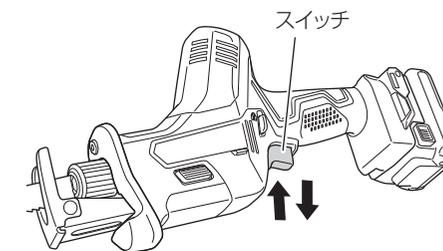
スイッチを大きく引くと、ストローク数が上がります。

切断を開始するときは、ストローク数を下げ、十分な切り込みが得られてからストローク数を上げて(スイッチの引き込み量を大)切断すると、ねらった位置に合わせやすくなります。

また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

注 低速で木材または鉄板の厚い材料を切断したり、低速で長い時間連続して切断しないでください。

モーターに無理がかかり、故障の原因になります。特に、切断中にブレードが停止するような無理な使い方は避け、常に滑らかに切断できるように、ブレードのスピードを調節してください。

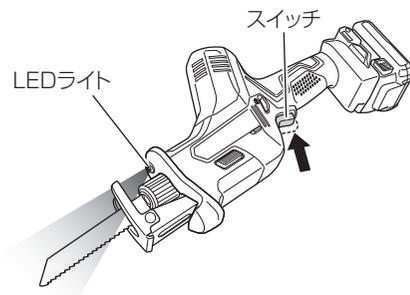


LED ライトの使い方

スイッチを引いている間、自動的にLEDライトが工具先端部を照らします。

スイッチから指をはなすとLEDライトは自動消灯します。

注 LEDライトのレンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、ライトのレンズ部に傷が付かないように注意してください。



1 充電当たりの切断量

切断量は、材料の状態、ブレードの種類、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。

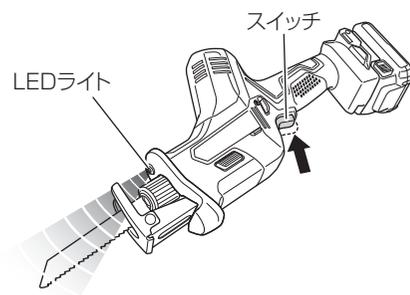
(蓄電池 BSL 1215 使用時)

材料 (種類)		切断量
木材	2×4 材	20 カット
鉄パイプ	φ 19.1 × T1.2	35 カット

LED ライトの警告シグナルについて

本製品は、工具本体および蓄電池を保護する機能が付いており、作業中に各保護機能が作動すると、スイッチを引いている間、LEDライトが以下のように点滅してお知らせします。

各保護機能が作動したときは、直ちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。



保護機能	LEDライトの表示	対処方法
過負荷保護	0.25 秒点灯 / 0.25 秒消灯 ■ ■ ■ ■ ■	大きな負荷となった原因を取り除いてください。
温度保護		本体および蓄電池を十分に冷ましてください。
低電圧保護		電池残量が少なくなっています。蓄電池を再充電してください。

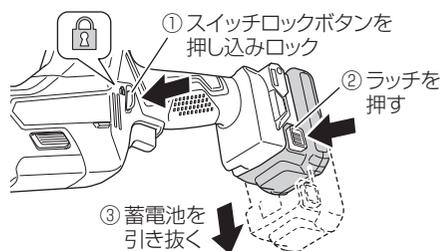
ブレードの取付け・取りはずし

本機は、セーバソーブレード、ジグソーブレードのどちらも取付けられる構造です。また、ツールレス着脱機構を搭載していますので、スパナやレンチなどの工具を使用しないでブレードの取付け・取りはずしができます。

●セーバソーブレードの取付け・取りはずし

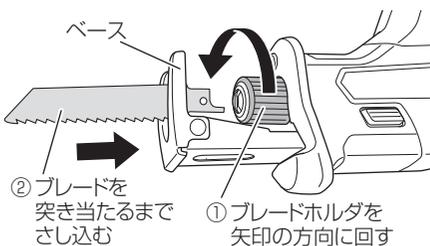
セーバソーブレードの取付け

1 スイッチを切り、スイッチロックボタンをロック側に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。

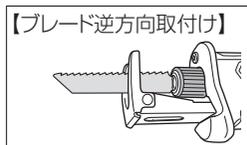


2 ブレードホルダを矢印の方向に回しながら、ブレードをさし込みます。

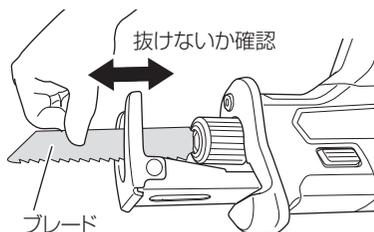
注 ブレードホルダが回しづらいときは、ベースを取りはずしてください。



3 ブレードホルダから手をはなすとブレードが固定されます。ブレードの向きは、作業に応じて上下どちらにも取付けできます。(図の下は逆方向取付け)



4 ブレードの背面を指で2～3回引いて、確実に取付けられたことを確認してください。



セーバソーブレードの取りはずし

ブレード取付け手順**1**—**2**の後、ブレードを下に向けて自然落下させます。

●ジグソーブレード(別売部品)の取付け・取りはずし

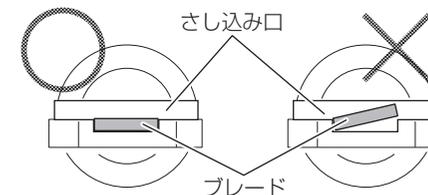
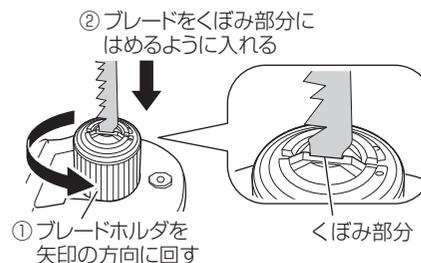
本製品は、クロス取付形状タイプのジグソーブレードが使用できます。



ジグソーブレードの取付け

取付け方法はセーバソーブレードと同じです。中心のくぼみ部分にブレードをはめるように入れてください。

取付けた後、ブレードを引いてしっかり固定されていることを確認してください。



ジグソーブレードの取りはずし

左ページの、セーバソーブレード取付け手順**1**—**2**の後ブレードを下に向け、自然落下させます。

落下しない場合は、ブレードを軽く横に押し、くぼみ部分からブレードははずして抜き取ります。

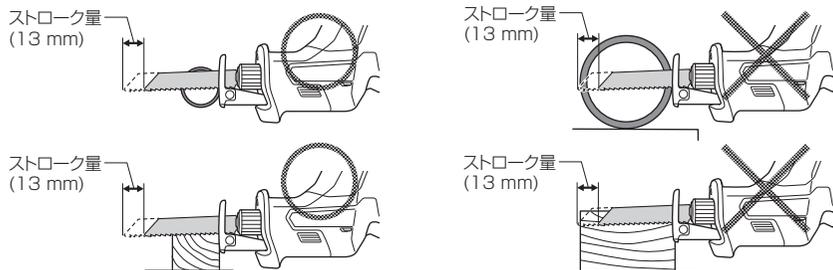
切断する

- パイプ、アングルの切断 ●各種木材の切断および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂の切断

警告

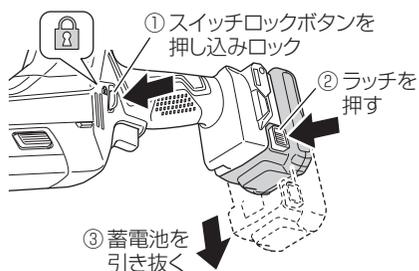
ブレードは、図に示すようにブレードの突き出し量が最小のとき、切断材料より十分出るように選んでください。

ブレードの切断能力以上の太いパイプや大きい木材などを切断すると、ブレード先端がパイプ内壁または木材に当たってブレードを損傷する恐れがあります。



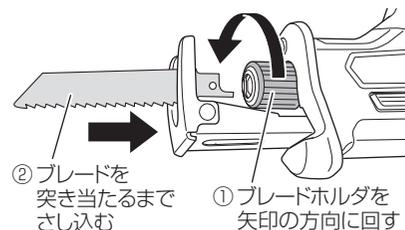
1 蓄電池を取りはずす

スイッチロックボタンをロック側に押し込み、蓄電池を工具体体から抜いてください。(P.14「スイッチロックボタンについて」参照)



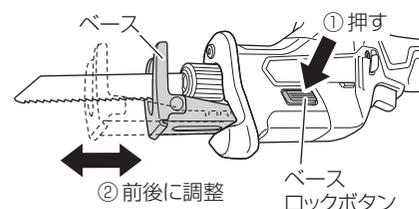
2 ブレードを取付ける

切断材料の材質・厚さ・大きさに適したブレード(種類・長さ)を使用してください。(P.17「ブレードの取付け・取りはずし」参照)



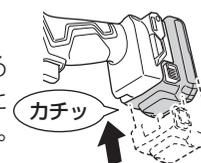
3 ベース位置を調整する

切断材料の大きさに合わせ、ベースの前後位置を調整します。(P.13「ベース位置の調整」参照)



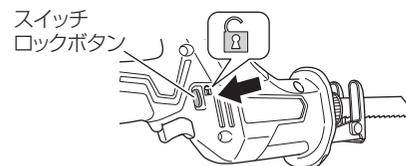
4 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



5 スイッチロックボタンを解除する

スイッチロックボタンを解除側に押し込み、スイッチロックを解除します。(P.14「スイッチロックボタンについて」参照)



警告

ブレードを損傷する恐れがありますので、以下の事項を守ってください。

- 作業中はベースを切断材料にしっかり押し当てて切断してください。
- 切断時は、無理な力を加えないでください。
- 小さな円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。

6 切断する

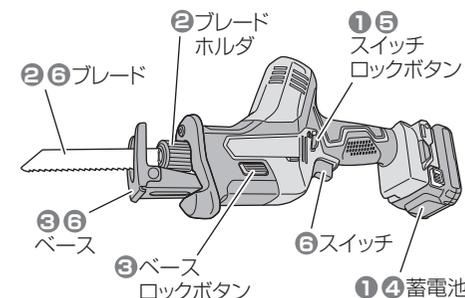
切断箇所にもブレード位置を合わせて、ベースを切断材料に押し当てながら、スイッチを引きます。

金属切断時には、ブレードの寿命が短くなりますので、切削油(タービン油など)を使用してください。



このほかに、窓抜き切断ができます。次ページの窓抜き作業のコツを確認してください。

注 切粉などがブレード取付け部周辺の凹部にたまるときは、清掃しながら作業してください。



●窓抜き作業

⚠警告

ブレードを損傷する恐れがありますので、以下の事項を守ってください。

- 金属材料の窓抜きはしないでください。
- ブレードの先端を材料に押し当てた状態で、スイッチを引かないでください。
- 機体をしっかり保持して、ゆっくりと作業してください。

木製の合板パネルや、薄板木材の窓抜き切断ができます。

作業手順の①～⑤までは、前ページの手順と同じです。

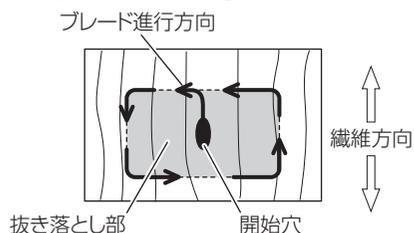
窓抜きのコツ

金属性のベースを支点にすると、材料に傷を付けることがあります。

このときはベースを取りはずして、機体のツバ部を支点にしてください。

開始穴があきましたら、ベースを取付けて作業してください。

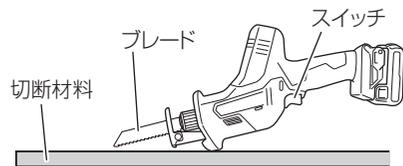
[木材窓抜き作業の例]



注 あらかじめドリルなどでブレードの入るだけの穴をあけ、その穴にブレードを入れて窓抜きを開始する方法もあります。

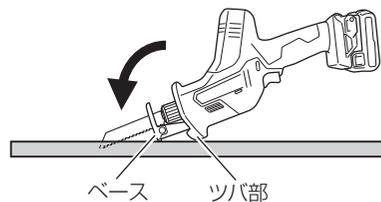
6 開始穴の位置を決める

材料にベースを押し当て、ブレードの先端を材料からはなした状態で、スイッチを引きます。



7 開始穴をあける

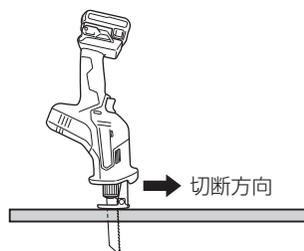
スイッチを軽く引き、スピードがゆっくりな状態で少しずつ穴をあけます。



ベース、またはツバ部を支点にする

8 切り込む

スイッチを一杯に引き、少しずつ進めます。



作業上のご注意

●連続作業について

連続的に作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。その際は機体を十分に冷ましてください。温度が下がれば再び使用することができます。

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を15分程度休ませてから使用してください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

●変速スイッチについて

スイッチにはストローク数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。

従ってスイッチの引き込み量が少ない状態(低速回転域)で、モーターを停止させる作業を連続的に行うと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

●工具の保持と押し付け力について

機体を両手で確実に保持してください。

また、先端工具を必要以上に押し付ける必要はありません。先端工具にこじる力や押し付ける力が過度にかかると、機体が故障する原因になりますので注意してください。

充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

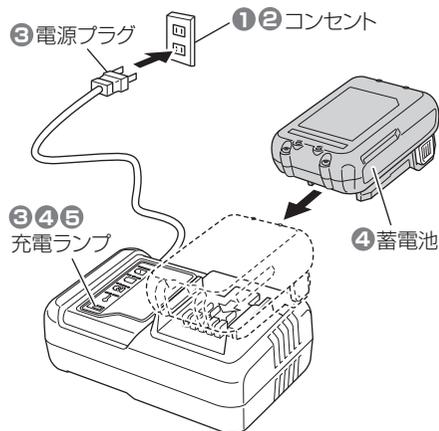
警告

手順①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間

BSL 1215 : 約 22 分

注 充電時間は使用環境や蓄電池の状態により長くなることがあります。また、低温環境下では著しく充電時間が長くなりますが、異常ではありません。



1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.24「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが赤に連続点灯します。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

● 充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」が付いています。各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプの表示		本体 の記号	表示内容
点滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 ■ ■ ■	—	電源にさし込んだ状態 (蓄電池がさし込まれていない)
点灯	連続点灯 ■■■■■■■■■■	—	充電中
点滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 ■ ■ ■	⋯	充電完了
遅い点滅	1 秒点灯 / 0.5 秒消灯 ■ ■ ■	—	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始します)
速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 ■■■■■■■■■■	⋯	充電器または蓄電池に異常あり

- 注**
- 充電ランプが速い点滅 (0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯) を繰り返すときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取り除いてください。異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
 - 一度充電が完了した後、次の充電まで 15 分程度休ませてください。同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
 - 工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
 - 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
 - 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池と交換してください。寿命の蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

保守・点検

⚠警告

エアガンなどを用いて清掃する際には、保護メガネと防じんマスクを使用してください。

飛ばされた切粉を吸い込んだり、目に入る可能性があります。

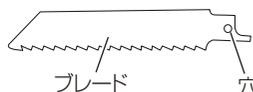
●ブレードの点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。早めに新品と交換してください。

⚠注意

穴部が摩耗したブレードを使用しないでください。

作業中にはずれると、けがの原因になります。

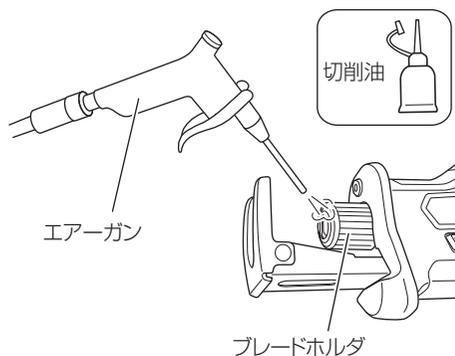


●ブレード取付け部の清掃・注油

ブレード取付け部をいつも円滑に動かすため、使用後は、切粉・土・砂・水分などをエアで吹き飛ばすか、ブラシなどで清掃してください。

ブレードホルダ周辺部に切削油などを定期的に注油してください

注 ブレード取付け部周辺の凹部に切粉・土・砂・水分などを付着させたままにしておくと、ブレードホルダ周辺部がさびついて故障の原因になります。



●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●機体の点検

各部位の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●端子部の点検

工具本体や、蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨が降る場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

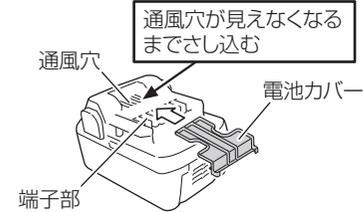


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡 (ショート) して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡 (ショート) するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。
- 蓄電池の残量が少ない状態で長期間 (3 か月以上) 保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。
- 充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

メ モ

メ モ